

## ●保育士が作って子どもが遊ぶおもちゃ

子ども達は遊びの中から自然と物事を学び、成長していきます。  
例えば、ブロック遊びから手先が器用になり、作り上げる喜びを知ります。  
人形遊びでは、物を大切に扱う気持ちが育ち、なりきり遊びをすることで言葉が育ちます。

また、友達と一緒に遊ぶことで、共に遊ぶことの楽しさや、協力することの大切さ、譲る気持ち、我慢すること等、人との関わり方を学んでいきます。  
これが私達 JICA ボランティアが進めているプロジェクト『遊びを通した学び』です。

保育園では、子どもが集中して遊ぶことのできる「自由あそび」、「コーナー遊び」の時間がとても大切です。

この本には、廃材や身近な物で簡単に作ることができるおもちゃを載せました。

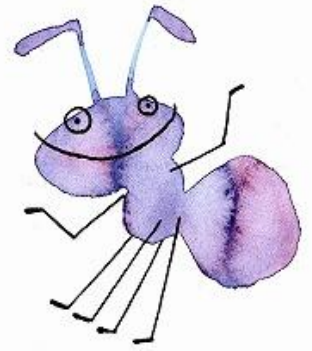
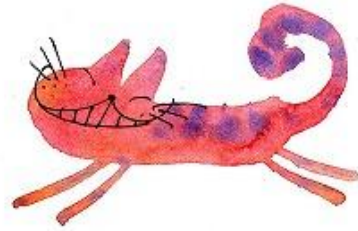
毎日これらのおもちゃで遊ぶことにより、子ども達の遊び方や、完成した物、友達との関わりを見ることができます。

ぜひ、子ども達と一緒に楽しく遊び、遊びを観察してみてください。

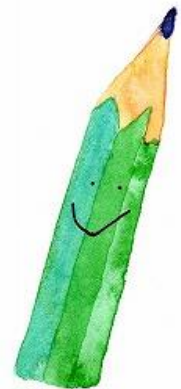
それにより、子どもの成長を見ることができるでしょう。

子どもの成長を知り、より良い成長を促す(助ける)のが保育士の役目です。





子どもと一緒に楽しく遊ぼう



## 布おもちゃ(動物型のマラカス)

【目的】音を楽しむ

乳児が手に持って遊ぶ

【材料】トウモロコシやジュースの空き缶、米・マカロナーナ・豆、セロハンテープ、布、針、糸

【作り方】①空き缶の中に米等を入れる

②中が出ないようにしっかりとテープでとめる

③布を缶の大きさに合わせて切る、動物の部品を切る

④缶の中に入れて布で包む

【遊び方】乳児が寝転んで遊ぶ

保育士が子どもの目の前で音を立ててあげる

【補足】中に入れる物や量を変えると音に違いが出る

布で包むことで音が優しくなる



## 布おもちゃ(人形、指人形)

【目的】物に愛着を持つ。

人形になりきって遊ぶことで想像力がつく。

人形を通して会話をすることで言葉を覚えていく

【対象年齢】乳児、幼児

【材料】布、針、糸、綿、毛糸

【作り方】①人形の型に合わせて布を切る(人、動物、野菜、果物等)

②顔を刺繍する

③裏合わせで縫い合わせる

④裏返して綿を入れて閉じる

⑤人は毛糸等で髪の毛をつける

【遊び方】保育士が人形を使って物語づくり子どもたちにみせる

子どもが自分で人形を使って物語をつくる

人形を使って友達との会話を楽しむ

人形を赤ちゃんに見立てて可愛がって遊ぶ

【補足】遊びに使える小さな布団や家具、洋服等もあると遊びが広がる。

【保育士の援助】保育士は子どもと一緒に遊んだり、時には子どもの遊びを見守る。



## 布おもちゃ(ボタンつけ)

【目的】 ボタンをつける練習になる  
指先が器用になる  
集中力がつく  
達成感を味わう

【材料】 布、針、糸、綿、ボタン

【作り方】 ①布を切り縫い合わせる  
②両端にボタンをつける  
③中に綿を入れる

【遊び方】 ボタンをつなげて遊ぶ  
長くたくさんつなげたり、好きな色・柄を集めたりする

【保育士の援助】 保育士がボタンの付け方を教える  
保育士は子どもができたことを誉める  
集中できるように環境を整える  
子どもの遊び方をみて成長を知る



## 布おもちゃ(マジックテープ遊び)

【目的】 乳児の手先の運動になる

貼る・取ることを繰り返し遊ぶ

【材料】 布、針、糸、マジックテープ、紐、段ボール、

【作り方】 ①デザインに合わせて布を切る

②ひとつひとつにマジックテープを縫いつける

③本体にもマジックテープの片側を縫い付ける

④取れないように段ボールにつける

⑤小物がなくならないように紐をつけておく

⑥乳児のベッドの横に取り付ける

【遊び方】 乳児がベッドの横に座り、繰り返し遊ぶ

【保育士の援助】 子どもが楽しくなるような声をかける

子どもの様子を見て子どもの成長を知る



## 玉落とし

【目的】 集中して取り組む

細かい遊びを楽しむ

【材料】 ペットボトル、段ボール、テープ、カッター、

【作り方】 ①ペットボトルを切る

②段ボールをきり、穴を開ける

③小さな玉を作る

④段ボールを間に挟み、ペットボトルをテープで貼りつける

⑤玉を中に入れて下に落として遊ぶ

【保育士】 子どもが挑戦している時や、出来たときに誉める。

段差や穴の大きさを変えて難易度を変えて作る



## ドーナツつなぎ

【目的】たくさんつなげる事を楽しむ  
手先の力を強くする

【対象年齢】1歳～

【準備物布】(たくさんの色)、綿、針、糸

【方法】①ドーナツ型に切った2枚の布を縫い合わせる  
②縫い合わせ部分を少し残して中に綿を詰める  
③残りの部分もを縫い合わせる

【保育士の援助】

- ①保育士がたくさんつなげたものを子どもに見せて楽しさを教える
- ②子どもがつなげる事ができたらたくさんほめる





## ヨーグルトカップの積み木

【目的】 繰り返し遊ぶ楽しさを知る

好きな形につくる

友達と一緒につくる

手先の運動になる

【材料】 ヨーグルトの空きカップ(洗って干しておく)、カラーテープ

【作り方】 ①子どもが保育園で食べたヨーグルトの容器を洗って干す

②空きカップにテープを貼る

【遊び方】 縦に積んだり、横に並べたりして楽しむ。

友達と一緒に完成させて一緒に喜ぶ。

【保育士の援助】 子どもの集中している姿、完成させたときの喜びをよくみて声をかける。

おもちゃの取り合いになった時は保育士がうまく仲裁する。



## 六面パズル

【目的】 絵をよく見て考える力をつける

完成させた時の達成感を感じる

【材料】 牛乳パック、色紙、のり、テープ、

【作り方】 ①牛乳パックを切り、さいころを4個作る

②大きさに合わせて色紙を6枚切る

③色紙6枚に動物や果物の絵を描く

④色紙を4等分にきり、牛乳パックのさいころにそれぞれ貼る

⑤テープで貼りカバーする。全部で6面の絵のパズルができる。

【遊び方】 さいころの向きを変え、絵を合わせて遊ぶ。

【保育士の援助】 難しいときには保育士がヒントを出す

出来たときには一緒に喜ぶ

子どもが描いた絵をパズルにしても喜ぶ。



## 貯金箱型おもちゃ

【目的】手先が器用になる  
集中力がつく

【材料】ペットボトル、ペットボトルのキャップ、ボンド、テープ、カッター、紙

【作り方】①ペットボトルを切り、入れ物とふたをつくる。

ふたにはキャップが入る大きさの穴を開ける。

②ペットボトルのキャップを2つあわせて中に米や豆を入れ、ボンドでつける。  
テープで取れないように補強する。たくさん作る。

③穴からキャップを中に入れて遊ぶ。

※キャップ用とは別に穴の大きさを変えて、難易度を変える。

中に入れる物は紙を丸めたりトレーを切って作る。

【保育士の援助】年齢に合った難易度のおもちゃを渡す

保育士は子どもが取り組む姿を誉める

繰り返し遊ぶ。



## パズル

【目的】絵を覚えて正確に表現する

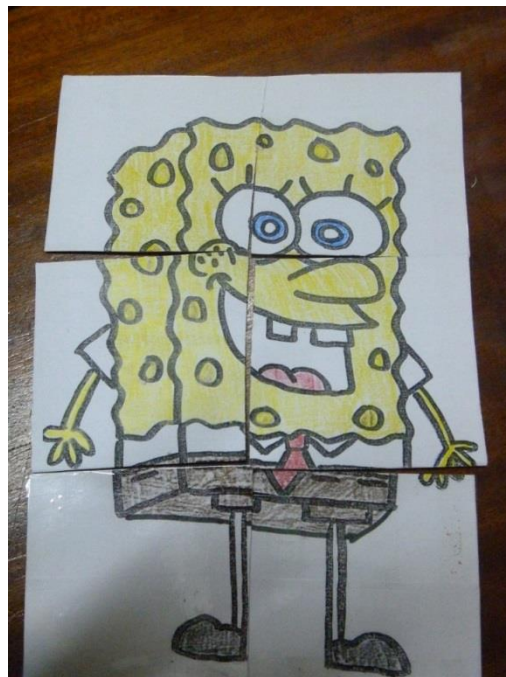
【対象年齢】2歳～(年齢に応じてピースの数を考える)

【準備物】パズルする絵、段ボール、セロテープ、カッター

【作り方】①パズルにしたい絵を段ボールに貼る

②ランダムに切る

③1つ1つをセロテープで包む



## けん玉

【目的】①けん玉あそびを楽しむ

②集中力を身に付ける

【対象年齢】4歳～

【準備物】新聞紙、セロテープ、毛糸(ひも)、ヨーグルトカップ、

【作り方】新聞紙でボールを作り、セロテープで包む

毛糸の両端にボールとヨーグルトカップをつける

【保育士の援助】友達に当たらないように広い場所で遊ぶよう声掛けをする



## ひっぱり箱

【目的】手先の力を強くする

【対象年齢】6か月～

【準備物】アイスクリーム(バター)の容器、様々な太さのひもやリボン

【方法】①容器に小さい穴をたくさん開ける

②穴にひもやリボンを通して内側で結ぶ

【保育士の援助】

子どもがひっぱり終わると保育士が内側にひもを戻し繰り返し遊べるようにする



## ブロック

【目的】手先の運動になる

子どもの想像力を育てる

友達と一緒につくる

【対象年齢】1歳～

【準備物】ジュースや牛乳のパック、色紙、両面テープ(のり)、セロテープ、新聞紙

【方法】①パックは事前にきれいに洗い乾かしておく

②空きパックの中に新聞紙を詰める

③パックを色紙で包む

④セロテープで包む

【保育士の援助】

保育士も子どもと一緒に遊びながら色々な物を作り楽しさを伝える

おもちゃの取り合いになった時は保育士がうまく仲裁する



## 絵合わせカード

【目的】簡単なルールのある遊びの楽しさを知る

【対象年齢】4歳～

【準備物】ダンボール(牛乳パックでもよい)・イラスト(10種類ほど各2枚)・のり・セロテープ

【方法】カードを全部裏返しにして、順番に2枚ずつめくり同じペアのカードを探していくゲーム

【保育士の援助】

①ルールを正しく子どもに伝え理解できるまでは保育士も一緒にゲームに参加する

②子どもがペアのカードを見つける事ができたらほめる

【補足】大きなカードを作ると広い場所で体を動かして楽しむことができる

人数に応じてイラストの種類を多くしてもよい





## 動物

【目的】 製作することを楽しむ

【材料】 色紙、のり、クレヨン

【作り方】 ①保育士が動物の顔、耳、鼻等を切っておく

②子どもが自分で作る動物を選ぶ(全部つくっても良い)

③顔にのりで耳や鼻を付ける

④目や鼻やひげをクレヨンで描く

【保育士の援助】 子どもの年齢・成長に合わせて保育士が手伝う

子どもが自分で完成させることを大事にする

保育士は作品や課程を誉める

出来た動物は壁に貼り、保護者も見られるようにする



## ●子どもと一緒にやる活動

毎日の「自由遊び」「コーナー遊び」で子どもの成長が見えてきたら、今度はおもちゃ以外の物を使いさらなる成長を促すための、「主活動」をデイリープログラムに取り入れましょう。

それは、この本に載せているような、子どもと一緒に製作をしたり、壁の飾りを作ることです。

幼い時期に色々な経験をすることはとても大切です。

例えば、のりやはさみやペン等を保育士と一緒に使うことで正しい使い方を覚えます。

自分で好きな色を選んだり、どういう物を作ろうか考えたりする事で想像力が育ちます。

こういった活動は子ども達の喜びになり、保育園にくる楽しみにもなるでしょう。

保育士は子ども一人ひとりの個性を認め、たくさん誉めてください。

また、この本の活動は子どもの年齢に応じて活動の難易度を変え、応用できるようにしています。

保育士が準備する物、援助の度合いによって乳児から活動ができます。

乳児はクレヨンを持つこと、シールを貼ること等簡単なことから初めてみてください。

それだけでも作品には違いがでて、その子の個性や成長を知る手助けとなります。



# 魚

【目的】 自由な発想で製作することを楽しむ  
のりの使い方を覚える。

【材料】 色紙、のり、

【作り方】 ①保育士が魚の形に色紙を切る

②飾り用の小さな紙も切る

③子どもは魚に小さな紙をのりで貼り、好きな模様を付ける

※年齢の低い子はクレヨンでお絵描きをしたり、シールを貼って飾りを付ける

※他にも、絵の具で塗ったり、布の切れ端を貼ったり、色々な方法で飾りを付けることができる。

【保育士の援助】 子どもの自由な発想を誉める

出来た作品は壁に貼り、保護者も見られるようにする

※大きな紙に海を作ったり、海の生物について話すことで子どもの想像力が膨らむ。



## 天井から吊す鳥

【目的】好きな模様を付けることを楽しむ

【材料】色紙、のり、クレヨン、ストロー、毛糸

【作り方】①保育士が鳥の形に色紙を切っておく

②魚と同じように子どもが色々な方法で模様や顔を付ける

③ストローの中に紐を通し、組み立てる

④紐の先に鳥をつけ、バランスを取る。

【保育士の援助】ストローと毛糸の組み立ては保育士が行う

完成したことを子どもと一緒に喜ぶ

天井から吊すとゆらゆらするので乳児室に下げても良い



## 形遊び

【目的】形の名前を知る

形を使って色々なものを作る

【対象年齢】3歳～

【準備物】色紙、のり、白い紙

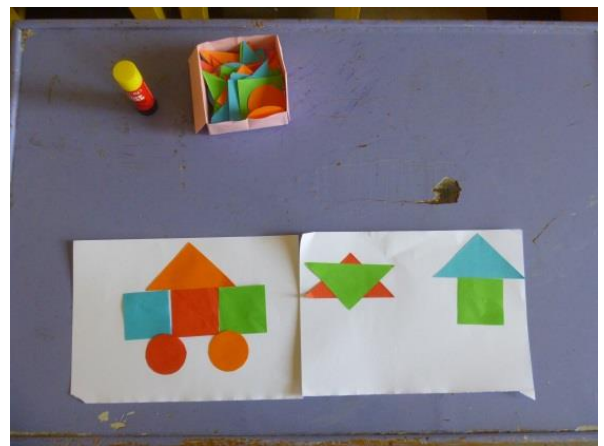
【遊び方】①色紙を○・△・□の形に切る

②子どもたちがそれぞれ自分で考えて(家・星・花)制作をする

【保育士の援助】

①子どもの発想を誉める

②できた作品を子ども同士見せ合う場を設けたり壁に貼る



## あおむし

【目的】クレヨンを使う事で握る力を強くする  
みんなで1つのものを作る楽しさを知る

【対象年齢】2歳～

【準備物】薄い色の紙、クレヨン

【作り方】①色紙を○の形に切る

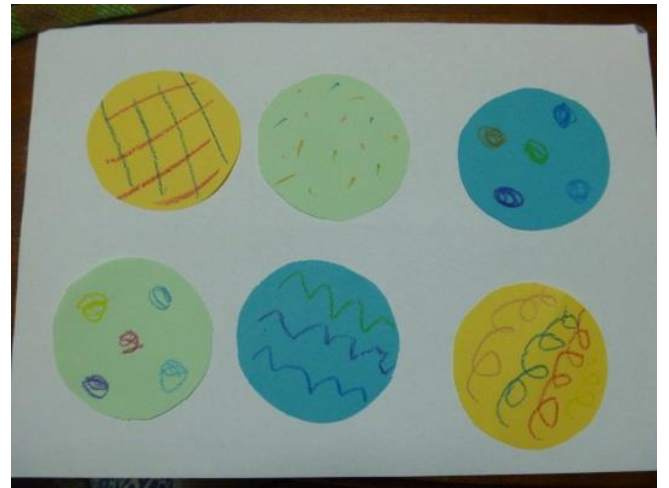
②子どもたちが丸い紙に好きなように描く

③みんなの○を合わせて1つのあおむしを作る

【保育士の援助】

①必要に応じて保育士が手伝う

②それぞれの子どもの作品を誉める



## ちょうちょ(絵の具)

【目的】様々な絵の具の遊びを知る

【対象年齢】4歳～

【準備物】色紙、絵の具、筆、筆を洗う容器

【作り方】①色紙をちょうちょの形に切っておく

②ちょうちょの半分に好きな色の絵の具をつける

③半分に折ってまた広げる

④現れた模様を楽しむ

【保育士の援助】

①絵の具の扱いについて事前に詳しく説明しておく

②必要に応じて手伝う



## ちょうちょ(シール)

【目的】細かい作業をすることで指先の力を強くする

自由に模様を描く事を楽しむ

【対象年齢】3歳～

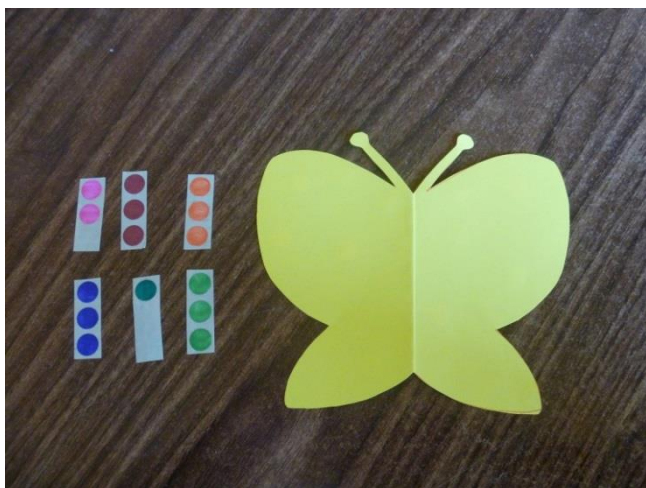
【準備物】薄い色の紙、小さいシール、はさみ

【作り方】紙をちょうちょの形に切る

自由に様々な色のシールを貼る

【保育士の援助】

①必要に応じてシールをはがすのを手伝うが、できるだけ子どもの力でできるよう促す





## お花のペンダント

【目的】①のりの使い方を知る

②細かい作業をする事で指先の力を強くする

【対象年齢】4歳～

【準備物】色紙、白い紙、毛糸、のり

【作り方】①花びら用の色紙を細長く切る

②真ん中用の色紙を丸く切る

③子どもたちはのりを使い花を作る

④毛糸を2枚の真ん中用の紙の間に挟む

【保育士の援助】

のりを塗る場所を教えるなど、必要に応じて保育士が手伝う



# 海

【目的】①海をテーマに想像力を膨らませる

②細かい作業をする事で指先の力を強くする

【対象年齢】4歳～

【準備物】模造紙、折り紙(船・魚)青系の色紙、のり、クレヨン

【作り方】①模造紙に青系の紙をのりで貼り海を作る

②折り紙で船と魚を作る(折り紙の本参照)

③船と魚を模造紙に貼る

【保育士の援助】

①折り紙の折り方をきちんと教えられるよう事前に練習しておく

②難しいところは必要に応じて手伝う





このアイデア集は私たちボランティアが実際に保育園で子どもと一緒にやった活動や、スエズにあるもので作った手作りおもちゃです。

みなさんの保育園でも使ってほしいと思って作りました。

勉強をたくさんしたり、子どもたちはテレビの前に座りっぱなしという現状を少しでも変えたいと思って私たちは活動してきました。

保育園で子ども達が自由に遊ぶ時間はありますか？

友達と一緒におもちゃで遊んだり、外で運動遊びをしたりすることで子ども達はたくさんのことを学びます。様々な道具を使って製作し、はさみやのりなどの使い方を身に付ける事や、保育士や友達と関わり、様々な気持ちを感じる事等、いろいろな経験が子ども達を成長させるのです。保育士自身も子どもと一緒に遊んだり、活動をしたり、外で一緒に走り回って遊ぶ事がこんなに楽しくて子どもが喜ぶ事だと気づいてほしいです。

毎日、子どもたちが保育園にきて何か1つでも「楽しかった」「明日も保育園に行きたい」と感じられる保育園であって欲しい。

そんな保育園に、子どもの成長がみられる作品が飾ってあったり、子どもが楽しそうに保育園で過ごす姿を見ると、保護者も喜びます。

私たちがいなくなった後もこの本の遊びやおもちゃをたくさん利用してください。

「遊びを通した学び」は保育者が子どもと同じ目線、同じ気持ちにならなければ理解する事ができません。

みなさんの保育園に子どもたちと保育士の笑顔がたくさんあふれる事を願っています。

JICA ボランティア

神田 貴子（ファディーラ）

南 智子（リハーム）



# クリスマスツリー

【目的】季節のイベントを身近に感じる

【対象年齢】3歳～

【準備物】色紙(緑・茶・黄)、のり、はさみ、クレヨン

【作り方】①色紙をそれぞれの形に切る(緑—三角形、茶—長方形、黄—星形)

②緑の紙にクレヨンで飾りや模様を描く

③のりでツリーの形に貼る

【補足】5歳以上ははさみで切るなど、年齢に応じて作業を変える

